

平成22年度第2回東濃看護専門学校運営協議会議事録

日 時 平成23年1月7日(金)午後2時
場 所 東濃看護専門学校2階会議室

次第

- 1 開会 学校長挨拶
- 2 会長あいさつ 土岐市副市長挨拶

会議の成立の確認 9名の出席で会議の成立を確認。

3 議事

会長が議事進行。

- (1) 平成22年度東濃看護専門学校事業特別会計補正予算(案)について

事務長：資料に基づき説明。

承認。

- (2) 平成23年度東濃看護専門学校事業特別会計予算(案)について

事務長：資料に基づき説明。

委 員：収入予算の学生数について

事務長：今年の予算を組む段階では、1年生41人、2年生39人、3年生33人でしたが、実際には、1年生40人、2年生43人、3年生、21人となっています。来年度、1年生は、40人の合格者と休学者が1人いるので41人、2年生は、今年1年生が37人いるので37人、3年生は、今年2年生が41人いるので、41人と予算化しました。

委 員：授業料・入学金・施設整備協力金は現在いくらか。

事務長：1年間の授業料は240,000円、入学金は100,000円、施設整備協力金は150,000円です。

委員：看護学校のあり方検討会として廃止の方向ということであったが、その後医師会等との関連もあって存続することになったと聞いている。歳入予算全体をみると、およそ2/3が税金となっている。卒業する学生が、圏域内で就職するのであれば、税金を投入する意味があるが、現実には、そうではない。

入学金や授業料等を再度、見直したらどうかと考える。

圏域内に就職する者は、各市から助成する制度の検討をしたらどうか。

現在の状況では、市民に説明ができない。

事務長：他の学校等を参考に検討したい。検討委員会を立ち上げる前に、一度内部にて検討したい。定員を確保できていけば、現在の状況でいくのもひとつの方法である。

その他に意見なく、承認

4 その他

(1) 平成23年度生推薦入学試験の状況について……………

事務長：資料に基づき説明。推薦合格者は、6名。

一般入試の現在までの募集状況を説明。

1月11日（火）が締切りであるが、1月7日（金）午後2時現在、16名である。応募の段階で定員割の可能性はある。

来年度以降、大幅な定員割の場合は募集要項に掲載するなど、二次募集等を検討したい。

委員：現在、大幅に定員割れが確実な状況であれば、今からでもすぐ実施すべきではないか。

事務長：今年度は、日程等まだ検討段階である。

委員：実施できるのであれば、今年度から実施していただきたい。不可能で

あれば、来年度から実施していただきたい。

事務長：検討させていただきます。

(2) 本年度中の主な行事等……………

資料の閲覧。

その他

入れ墨をしている学生について

事務長：入れ墨をしている学生の取扱いについて、学校案内（学生募集要項）

に「入れ墨をしている学生は、入学後きちんと処理をしていただくことがあります」という文言を掲載したいと考えていますがいかがでしょうか。

委員：人権問題もあるかもしれないが、患者さんに恐怖心を与える場合もあるので、きちんと厳正に処置をしてもらう旨掲載したほうがよい。

その他意見なく、来年度から学校案内に上記の文言等を掲載する。

5 閉会